

バンダイこどもアンケートレポート Vol.249

「親子のコミュニケーションに関する意識調査」結果

- TOPIC①: 「直接会って話す」以外の親子のコミュニケーション方法TOP3は、
「スマートフォン・携帯電話での通話」、「家の固定電話」、「LINEなどのチャット機能」。
 中学生のおよそ3人に1人は、親子間で「LINEなどのチャット機能」を活用。
- TOPIC②: 親子でよく話す内容は小中学生ともに「授業・宿題」が1位!
 上位には「先生」や「友達」、「給食・お弁当」などが入り、学校関連の話題が多い傾向に。
- TOPIC③: 親に感謝の気持ちを伝える方法は、「直接会って話す」(69.8%)と「手紙」(25.8%)が大半。
 感情や思いが伝わりやすい方法を通じて感謝を伝える子どもたちの様子も。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長: 川口勝、本社: 東京都台東区)は、「親子のコミュニケーション」に関する実態を探るため、小学1年生から中学3年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)900人を対象に、「親子のコミュニケーションに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表します。
 <実査期間2018年12月21日(金)~12月23日(日)>

TOPIC①: 「直接会って話す」以外の親子のコミュニケーション方法TOP3は、
「スマートフォン・携帯電話での通話」、「家の固定電話」、「LINEなどのチャット機能」。
 中学生のおよそ3人に1人は、親子間で「LINEなどのチャット機能」を活用。

【親子のコミュニケーション方法】(複数回答) ※「直接会って話す」を除く

総合 TOP5		
1位	スマートフォン・携帯電話での通話	18.0%
2位	家の固定電話	17.7%
3位	LINEなどのチャット機能	17.2%
4位	メール	11.3%
5位	手紙	3.8%

(n=900)

小学生 TOP3		
1位	家の固定電話	18.3%
2位	スマートフォン・携帯電話での通話	13.8%
3位	メール	9.0%

(n=600)

中学生 TOP3		
1位	LINEなどのチャット機能	34.7%
2位	スマートフォン・携帯電話での通話	26.3%
3位	家の固定電話	16.3%

(n=300)

親と連絡・伝達などのコミュニケーションを取る時、どのような方法を取るかを聞いたところ、「直接会って話す」以外の方法TOP3は「スマートフォン・携帯電話での通話」、「家の固定電話」、「LINEなどのチャット機能」であることがわかりました。主に、スマートフォンや携帯電話を持っていない子どもたちが、一般の普及率が下がっている「家の固定電話」をコミュニケーションツールとして活用している様子がうかがえます。

また、小中学生別で見ると、中学生のおよそ3人に1人が「LINEなどのチャット機能」を活用するという結果に。中学生になるとスマートフォン・携帯電話の所持率が急増することから、親子のコミュニケーション方法も変化していくと考えられます。

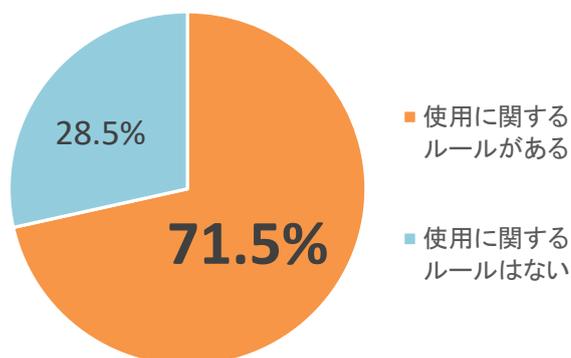
【スマートフォン・携帯電話の所持率】(n=900)

	全体	小学1~2年生	小学3~4年生	小学5~6年生	小学生全体	中学生全体
スマートフォン・携帯電話の所持率	42.4%	25.0%	33.5%	38.5%	32.3%	62.7%

スマートフォン・携帯電話を持つ子どもに対し、使用に関するルールや制限があるかについて聞いたところ、およそ7割が「ある」と回答しました。具体的には、1日1時間までといった「使用時間」の制限や、20時以降は禁止するなどの「使用時間帯」にルールを設けている割合が多く、接触時間について気にする家庭が多いことがうかがえます。また、4位には「アクセスサイトの範囲に制限がある」(16.5%)がランクイン。親の目が届かないところで、子どもたちが危険なサイトに辿り着かないように配慮する家庭も見られました。

【スマートフォン・携帯電話の使用に関する「ルール」や「制限」の有無と内容】(複数回答、n=382)

※スマートフォン・携帯電話を持っている人ベース



スマートフォンや携帯電話の使用に関する「ルール」や「制限」TOP5		
1位	使用時間にルールがある(1日1時間までなど)	32.2%
2位	使用時間帯にルールがある(20時までなど)	25.1%
3位	使用できるシーンにルールがある(食事時の使用は禁止など)	24.9%
4位	アクセスサイトの範囲に制限がある	16.5%
5位	アプリ内容にルールがある(ゲームアプリは禁止など)	12.8%

TOPIC②: 親子でよく話す内容は小中学生ともに「授業・宿題」が1位!

上位には「先生」や「給食・お弁当」などが入り、学校関連の話題が多い傾向に。

【普段、親とよく話す内容】(小中学生別、複数回答)

小学生 TOP10		
1位	授業・宿題	80.7%
2位	友達	77.0%
3位	先生	58.0%
4位	給食・お弁当	53.8%
5位	TV番組	50.5%
6位	習い事	46.7%
7位	家族	45.5%
8位	休みの日の予定・過ごし方	45.3%
9位	欲しいもの	44.5%
10位	趣味	28.2%

(n=600)

中学生 TOP10		
1位	授業・宿題	67.0%
2位	友達	59.3%
3位	部活	55.3%
4位	先生	45.3%
5位	TV番組	45.0%
6位	家族	37.7%
7位	休みの日の予定・過ごし方	37.0%
8位	欲しいもの	36.7%
9位	進路	35.0%
10位	給食・お弁当	34.3%

(n=300)

普段、親とよく話す内容について聞いたところ、小中学生共に「授業・宿題」が1位、「友達」が2位という結果に。ほかにも、「先生」や「給食・お弁当」などがランクインしており、学校生活に関係する話題が多いことがわかりました。

また、小中学生別に見てみると、小学生のランキング6位の「習い事」と10位の「趣味」が中学生ではTOP10圏外でした。一方、中学生のランキングでは3位の「部活」や9位の「進路」といった、小学生のTOP10に入らなかった項目もランクインしており、子どもの成長に合わせて会話内容が変化する様子も見受けられました。

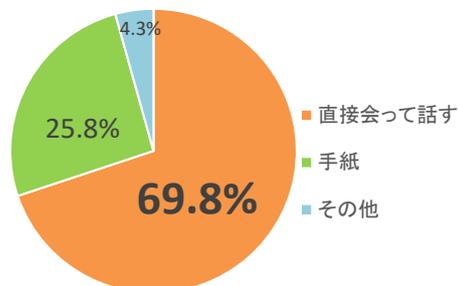
**TOPIC③: 親に感謝の気持ちを伝える方法は、「直接会って話す」(69.8%)と「手紙」(25.8%)が大半。
感情や思いが伝わりやすい方法を通じて感謝を伝える子どもたちの様子も。**

親に感謝の気持ちを 伝えたことがある子どもの割合	
全体	46.0%
小学1～2年生	57.5%
小学3～4年生	48.5%
小学5～6年生	46.0%
中学生	36.7%

(n=900)

【感謝の気持ちを伝えた方法】(単一回答、n=414)

※感謝の気持ちを伝えたことがある人ベース



親に感謝の気持ちを伝えたことがあるかを聞いたところ、約半数(46.0%)が「ある」と回答。学年が低いほど高い割合を示す結果となりました。

また、感謝の気持ちを伝えたことがある子どもに対して、伝えた方法を聞いたところ、「直接会って話す」(69.8%)と「手紙」(25.8%)が大半を占める結果に。スマートフォンなどのデジタルツールが広く普及している中でも、感情や思いが伝わりやすい方法を通じて感謝を伝える子どもたちが多いようです。

なお、具体的に伝えた内容を聞いてみると、「ご飯を作ってくれたこと」や「習い事への送迎」、「お仕事」など日常生活に対する感謝の声が多く上がりました。他にも「父の日・母の日」や「誕生日」といった年に一度の特別なタイミングを利用して、日ごろの感謝の気持ちを伝えたという声も見受けられました。

【バンダイからのコメント】

親子のコミュニケーションに関する実態を探る中で、子ども同士のコミュニケーション方法^{※1}についても聞いてみたところ、TOP3は、「LINEなどのチャット機能」、「家の固定電話」、「スマートフォン・携帯電話での通話」という結果になりました。スマートフォン・携帯電話による機能に加え、「家の固定電話」も子ども同士の連絡手段として広く活用されており、今もなおコミュニケーションツールとして必要であることがうかがえます。

また、小学生低学年女子は「手紙」、中学生女子は「TwitterなどのSNS」を活用すると答えた割合が高くなる^{※2}など、男子とは異なる傾向も見受けられ、学年や性別によってコミュニケーションの方法に違いが見られました。さまざまなコミュニケーションツールが浸透している中でも、状況に応じた最適なツールを選び、良好な親子のコミュニケーションが取れることを願います。

※1: 後述4頁参考①参照 ※2: 後述4頁参考②参照

■調査概要

- 【調査目的】 「親子のコミュニケーション」に関する実態を探る
- 【調査地域】 全国
- 【対象者条件】 小学1年～中学生3年生の子どもを持つ親(25歳～59歳)
※子どもと一緒に回答できる方
- 【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)
- 【実査期間】 2018年12月21日(金)～12月23日(日)
- 【サンプル数】 900人
- 【構成】

	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
男子	50人								
女子	50人								

参考①:子どもが友達とよく取るコミュニケーション方法

子どもが友達とよく取る コミュニケーション方法 TOP5		
1位	LINEなどのチャット機能	21.4%
2位	家の固定電話	17.6%
3位	スマートフォン・携帯電話での通話	13.3%
4位	手紙	9.0%
5位	メール	8.6%

参考②:友達と「手紙」、「TwitterなどのSNS」でコミュニケーションを取る子どもの割合

「手紙」でのコミュニケーション			「TwitterなどのSNS」でのコミュニケーション		
男子	小学1～2年生	7.0%	男子	小学1～2年生	3.0%
	小学3～4年生	2.0%		小学3～4年生	1.0%
	小学5～6年生	2.0%		小学5～6年生	2.0%
	中学生	1.3%		中学生	2.0%
女子	小学1～2年生	22.0%		女子	小学1～2年生
	小学3～4年生	20.0%	小学3～4年生		1.0%
	小学5～6年生	13.0%	小学5～6年生		3.0%
	中学生	8.7%	中学生		14.7%

次回子どもアンケート
3月中旬「勉強に関する意識調査」配信予定